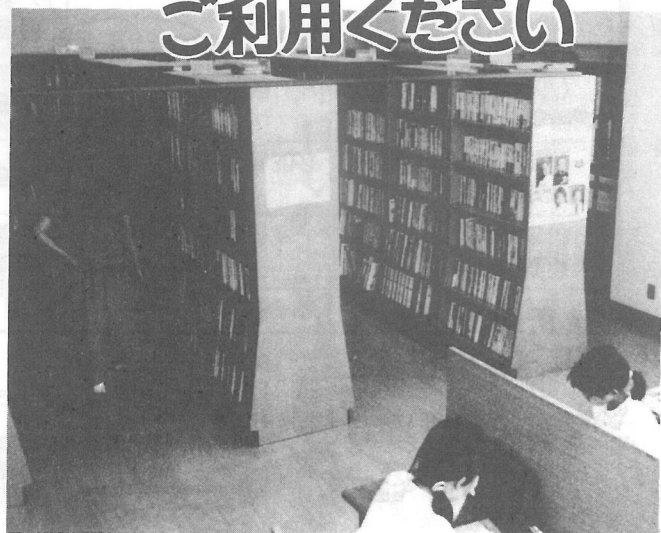


図書室を ご利用ください



文化会館の図書室には、県立図書館の本と合わせて約一万七千冊の蔵書があります。児童書、一般小説、文学全集や辞典、図書類など広い範囲にわたっての本が用意されています。

昨年4月から今年の2月までに延べ四六二八人の方が、一〇九四〇冊の図書を利用されました。利用方法はとても簡単ですから、ぜひ、ご利用ください。

▼利用方法
・図書室内で読む場合は、開館時間内でしたら、いつでも

自由にご利用ください。

●開館時間 午前8時半から午後5時

●休館日 毎週月曜日、祭日、年末年始

●貸出期間 図書の貸し出しは無料です。1人1回3冊まで、期間は2週間です。

▼リクエストカード 図書室にない本で、読みたい本がある場合は、出来るかぎりご希望にそえるように購入をいたします。リクエストカードに必要事項を記入され、職員に渡してください。

子供と図書室

守屋とき子 (栗山)



我が家の子供たちは、小さいときから図書室がすてきなおもちゃ箱の一つです。図書室のたくさんの棚には、大きい

我が家の子供たちは、小さいときから図書室がすてきなおもちゃ箱の一つです。図書室のたくさんの棚には、大きい

利 用 者 の 声

現代はテレビ、ファミコンなどが時間を占めることが多い世の中ですが、子供たちが自分で本を選び、読む習慣をつけられたことを喜んでいきます。

文化会館の図書室とならんで、バスによる移動図書館も大変役に立っています。また、リクエストカードのシステムも経済的に助かっています。

これからも、図書室が子供たちにとっておもちゃ箱から一生の宝箱に変わっていくことを親として望んでいます。

移動図書

「よこしば号」に期待して

菅沢晃光 (木戸台)



私は二十数年間農業に従事して参りましたが、職業があまり活字に接する機会もなく過しておりました。青春時代は、小説を読んで物思いに耽った事もありましたが、最近では仕事の忙しさに追われて、本を読むと言う事もありませんでした。町の本屋さんで本を買ったり、文化会館の図書室に出かける余裕もありませんでした。若い頃より小説を読むのが好きな私でしたから、数年前より町の移動図書「よこしば号」が、私達の部落まで書物を届けてくれる事

になり大変に喜んでおります。野良着のまま入れる図書館として大いに利用させて頂いております。

現代の文化は、テレビ・ラジオ等の音で耳から頭に入り、活字によって目から入る事が少なくなつた様な気が致します。書物を読む事によって色色の事を考える力もつきました。又、忘れた字も思い出します。

今後とも図書の充実をはかり、町の隅々まで読書による文化と娯楽を末長く届けて下さる事を期待し、又お願いを致します。